

3-8. IES-R 得点

調査票記入時までには何らかの被害経験があり、かつ 19 才までに受けた被害が「最も傷ついた」被害であったと答えた人は 165 人いた。

165 人の現在の年代の内訳は以下の表 28 の通りである。

表 28 IES 回答者の年代

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	20代	43	26.1	26.2	26.2
	30代	51	30.9	31.1	57.3
	40代	43	26.1	26.2	83.5
	50代	27	16.4	16.5	100.0
	合計	164	99.4	100.0	
欠損値 *		1	.6		
	合計	1	.6		
	合計	165	100.0		

165 人の、19 才までに受けた「最も傷ついた」被害についての IES-R 得点の平均値を年代ごとに示したのが以下の表 30 である。20 代、30 代の得点が比較的高くなっている。

表 29 IES score x 年代 処理ケース

	ケース					
	含まれたケース		除かれたケース		合計	
	N	パーセント	N	パーセント	N	パーセント
IES score x 年代	159	96.4%	6	3.6%	165	100.0%

表 30 年代別 IES score

20代	平均値	15.8140
	N	43
	標準偏差	11.7012
30代	平均値	17.1200
	N	50
	標準偏差	17.3812
40代	平均値	12.6341
	N	41
	標準偏差	13.7927
50代	平均値	11.5200
	N	25
	標準偏差	10.2637
合計	平均値	14.7296
	N	159
	標準偏差	14.1120

165人のIES-R得点の平均値を被害内容ごとに示したのが以下の表32である。「したくないのに性交された」が最高得点であり、「抱きつかれた」「キスされた」「性器をさわられた」などの身体接触を伴う被害の得点が高くなっている。

表31 IES score x被害内容 処理したケースの要約

	ケース					
	含まれたケース		除かれたケース		合計	
	N	パーセント	N	パーセント	N	パーセント
IES score x Q9. (1)最も傷ついたり経験はつぎのうちどれですか	160	97.0%	5	3.0%	165	100.0%

表32 被害内容別IES score

被害内容	平均値	標準偏差
言葉で性的ないやがらせを受けた	11.7143	7
性器をわざと見せられた	8.6000	25
無理やりお尻、胸、背中などからだをさわられた	10.9815	54
無理やり抱きつかれた	22.4545	11
無理やりキスをされた	20.5714	7
無理やり性器をさわられた	18.8919	37
したくないのに性交されそうになった	16.4444	9
したくないのに性交された	25.1250	8
不明	22.0000	2
合計	14.8313	160

3-9. ライフイベント

第5部でたずねたライフイベントについて、有効回答者総数 459 名の回答は以下の表 34～40 の通りである。

表34 一緒に住んでいた家族と別居

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	なし	436	95.0	95.0	95.0
	あり	23	5.0	5.0	100.0
	合計	459	100.0	100.0	
合計		459	100.0		

表35 自分または家族が結婚や出産

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	なし	415	90.4	90.4	90.4
	あり	44	9.6	9.6	100.0
	合計	459	100.0	100.0	
合計		459	100.0		

表36 自分または家族が就職・転職・退職

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	なし	380	82.8	82.8	82.8
	あり	79	17.2	17.2	100.0
	合計	459	100.0	100.0	
合計		459	100.0		

表37 自分または家族が大きな病気やけが

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	なし	401	87.4	87.4	87.4
	あり	58	12.6	12.6	100.0
	合計	459	100.0	100.0	
合計		459	100.0		

表38 家族や大切な人と死別

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	なし	427	93.0	93.0	93.0
	あり	32	7.0	7.0	100.0
	合計	459	100.0	100.0	
合計		459	100.0		

表39 その他、ストレスを感じる大きなできごと

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	なし	337	73.4	73.4	73.4
	あり	122	26.6	26.6	100.0
	合計	459	100.0	100.0	
合計		459	100.0		

表40 ちかごろ悩んでいることや心配なこと

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	ない	65	14.2	14.5	14.5
	少しある	215	46.8	48.1	62.6
	かなりある	80	17.4	17.9	80.5
	大いにある	87	19.0	19.5	100.0
	合計	447	97.4	100.0	
欠損値	9	12	2.6		
	合計	12	2.6		
合計		459	100.0		

3-10 少年期の被害に関する自由記述

調査票の自由記述欄に記入された内容の中から、少年期の被害に関する記述を抜粋した。回答者の個人情報がわかる部分には修正を加えてある。

「私は小1、小3の時、1回ずつ電車の中でちかんに遭いました。はじめは中学生の男の子、次は中年の男性でした。特に2回目は、私がにらみかえしてもにやっと笑って、手を握ったり、胸をさわってきました。それ以来、私は男性を体めあてに女性を扱うものだと考え、男性に負けたくないと思ってきました。」

「小学生の頃、性的被害を受けました。警察に訴える前に、加害者の学校の方から訴えないで欲しいと親に頼みにきたようです。性に関して何も知らない子どもの頃に受けた性的被害はその後の人生に大きな影響をおよぼしているように思います。子供たちを誰もこんな目に合わせたくないと思います。」

「性器をさわられている時はとてもいたくていやだったけど、逃げたり、親に言う事はできなかった。今おもうととてもくやしい。相手とは会う事はないが、そいつにあったらぶっとばしてやりたい。子供がその頃の私と同じぐらいの年なので、心配だ。主人とセックスをしているとき、ふと思い出して、さわられるのが非常に嫌になるときがある。でも、だれにも言えない。性の事はいつまでも心に残ってきえる事はないのだと思う。」

「最近、子供に対しての性的いやがらせが増えており、身近でも小学校3年生の女の子が被害にあった。私も2人の娘がいるので、ものすごく心配です。私自身がその様な幼児体験があり、今だにトラウマになっているので、子供にはそんな思いは味あわせたくないです。そういった男がひとりの人間の一生（大げさではないです）を変えてしまうことを判って欲しいです。」

「突然のアンケートで驚いておりますが、2人の娘（8才と6才）がいるので、とても心配な事です。小さい頃のイヤな記憶は、本当にいつまでも心の中にあります。」

「小学生の時の体験が強烈な思いとして残っているのは、初めての体験だった事とともに、大人に対する信頼の喪失、（親にひたすら私がかつだと怒られたこと、それまで他の人に親切になどなど言い聞かされていたにもかかわらず）他人への不信任、10才になるやならずの子供にはとても受け入れられない事ごと。今ならば、自分は悪くなかったと思えるが、本当に周囲の対応で傷口はどこまでも広がり、性格にも心にも、色々な形であらわれると思います。」

「私の場合、子供の頃の家のとなりに、おばあちゃんの家があり、そこには3人のいとこ（男）も住んでいました。（その両親も）そのうちのひとりに、色々ないやがらせをうけ、ばらしたら私の母に言いつけるとか言われ、子供ながらにがまんしていました。性交はなかったものの、精液を下着につけられたりもしました。子供でよくわからなかったので、親に気づかれないように洗ったりしました。そのいとこは優

秀で、親戚からも、評判がよかったので、誰にも信じてもらえないと思い、今まで誰にも言いませんでした。今は会うこともありませんが、親からこのいとこの話を聞くと、むしずがはしります。」

「私の場合は、もうすごく昔の話なので、あまりお役に立てないかもしれません。ただ、小学生の登校途中、いきなり性器を見せられて、ものすごくショックを受け、家族には話すことができず、一人部屋にこもっていたことを思い出します。」

「性的被害というものは、いきなり警察に知らせることができるものではありません。この質問には、「そのことを親に相談しましたか」という大切な部分がぬけていると思います。自分だけでは決して、警察に通報できるものではありません。しかるべき、信頼できる肉親を通じて、しかできません。しかし、私の場合は、両親はいなく、姉に面倒をみてもらっている中で、あずけられている家の中での出来事ですから、遠慮して、言えなかったのです。警察によって解決できる部分もありますが、家族関係が最もこのような被害から救ってくれるのではないのでしょうか。」

「強いいかりがこみあげてきます。子どもに対する行為として絶対に許せない気持ち。小学生の時のその時の気持ちというのは変なおじさんぐらいにしか思わず悲劇的なショックなどはありませんでしたが、20、30代になりだんだんと思い出すと、いかりがこみあげてくるようになりました。つまり一生忘れることはないということです。チカンや夜道で後をつけられたりなどの他は、幸い今まで大きな被害を受けたことはありませんが、女性や子どもなどの弱者に対するこの種の行為が強く真剣に非難されず、運が悪かったぐらいですまされている日本の社会意識、男性意識にいかりと無力感を覚えます。私は心身ともにいたって健康ですが、このこみ上げるいかりはちょっと度が過ぎるかなといつも思っていました。」

「娘が幼児の頃（4～5才）大学生の男性と一緒に遊んでやるとふざけながらも性器をさわらせられたことがあり、そのことを娘たちからきいて直ぐに警察に届け、犯人もわかったのですが、本人確認の為、二人の娘に面通しさせたとき遠くから相手が気付かないようにはなっていたものの、二人のこわがった様子に、今でも胸に痛みを感じます。」

「診察台で下着の中に手を入れられました。腹部を触診していて、どうしてそこまでするのか、今だに納得できないし、やり方が好妙といいましようか、それ以来医師に対する不信感から病院にはよほどのことがない限り行かなくなりました。これを犯罪と立証するのは不可能でしょうが、小学生のときに受けたこのショックは30年経った今日でも消えません。」

3-11. 調査の感想

調査票の自由記述欄に記入されていた、本調査に対する感想を抜粋した。「せっかく忘れていたものを思い出させるべきではない」「迷惑である」等の苦情もあるが、一方でこのような調査を実施する我々に対する激励も見られた。

「突然の手紙で驚きましたが、現在の女性の性被害についての事の「すくいの手」の様な気がしましたので協力させていただきました。マスメディアで報告されてない事はまだまだ沢山あり、被害者の方は多数いると思います。」

「このアンケートも、本当は私を傷つけた犯人が、またイタズラに私におくりつけてきた物だとしたら、これを見て楽しんでいるのだろう。そう思ってしまう。とにかく、誰も信じない。でももうたすかりたい。こんな気持ち、忘れたい。誰もわかってくれなかった。父や母にもめいわくをかけた。そのせいで、私のせいで、母は病気になってしまった。一生忘れられない。」

「なぜ私が調査対象になったのか？ちょっとびっくりしました。でも女性なら一度はどこかで性的被害らしいことはあると思います。」

「このアンケートの質問内容がきっかけで、忘れかけていた非常に悲しい体験を思い出してしまったので辛い。しかし、何かの役に立てばと思っている。」

「調査で済ませることなく、今後少しでも被害がなくなるように、これを役立たせて下さい。そのために協力させて頂きました。」

「突然のアンケートでしたので少々とまどいましたが、ほとんど忘れていた性被害のことだったのでお答えしました。現在は夫に恵まれ、幸せな生活を送っているので、仕事のことや金銭的なストレスのみで世間一般的なことと思っています。が、TV やラジオなどで、ストーカーやらレイズやらと聞く事もあり、一人で悩んでいる人がいるのかと思うと、悲しい限りです。どうぞ、一人でも多くの方がすくわれるよう、お願いいたします。」

「具体的にアンケートされると「ああ、こんなことされたなあ」とそのときどきのことが鮮明に思い出され、自分ではちかみや、変質者にそうぐうしたことなど忘れていたのに、こんな自分でも、けっこう被害にあっていたんだ、気をつけなくては、と思いました。」

「情報収集後（結果）、具体的に何をしていくつもりなのでしょうか？私の周りに被害にあい、警察に通報した人が何人もいますが、逆に、帰宅時間が遅いとか被害にあいやすい服じゃないのか等、大変不愉快

なことを言われ、あきらめた人もいます。このアンケートで何を（役立つ）つもりかを明確にしていればもっと詳しく、広く結果集計ができるのではないのでしょうか。」

「こういった調査の結果が、どのように社会に対して働きかけていくのかを知りたく思います。データを取るだけに終わらず、社会に野放しになっている、性的不快物（とでも言うのでしょうか）等の一掃につながれば良いと期待します。」

「女性で被害にあわれている方はずいぶん多くいるのでは・・・と思います。私も過去に何度かあって、非常にいやな思いをしました。非常に表面化しにくい事であるので、根気よく調査をすすめられて、結果を社会に反映させていただけると幸いです。」

「この実態調査が、大いに役立つことを心より願っております。」

「突然この様なアンケートを受け取り、少々ショックを受けた（忘れようと極力その事にふれる様な事らについて触れないようにしていたから）。私はアメリカで性的被害を受けました。（ホームステイ中にステイ先の家族の人から）その時、たくさんの方々が助言や手助けをしてくれたので、わりと早く立ち直ることができた様な気がします。これからのよりよいカウンセリングのためにも、今回のアンケートに答えることにしました。」

「最初この手紙を受け取った時は、とてもびっくりしました。このような経験のあった方はとてもつらい生活をしていると思います。少しでもお役に立てたらと思い、アンケートに答えました。」

「私の経験は、もう20年くらいも前のことで、長い間、その事で言いようも無い苦しみを味わい、孤独を味わいもしましたが、幸い、精神的に病むこともなく、自力であの地獄から抜け出すことができました。今、私は胸を張って「幸せです」と言う事ができますが、あの辛い経験を忘れ去ってしまっただけのような気がしていました。そして今ならそれ程ストレスを感じずにその事を話せるような気がします。手紙を頂いた時は本当に驚きましたが、少しでもお役に立てれば、私自身さらに救われるかとも思います。私にチャンスを下さってありがとうございます。苦しんでいる方々のためにも、どうぞ調査、研究にご尽力下さい。お役に立てれば幸いです。」

「忘れようとして記憶にものぼらないようにしてきましたのに、このアンケートを考えていくうちに思い出し、悩み、気分が悪くなりましたが、何かの役に立つならと思い、書きました。プライバシーは必ず守っていただけると信じておりますし、必ず守って下さい。調査、集計後、この用紙はどう扱われるのですか。事後処理もきちんとお願いします。お仕事も大変と思いますが、それぞれの個人個人の思いが入っていると思いますので、誠実にこのお仕事にあたっていただけたらと願っています。」

「幸い、私自身も娘二人（27才、20才）も、性的被害は今のところ経験していませんが、娘達と共に、被害に合わないよう、本を読んだり、色々話し合っています。今だに、被害者の方に落ち度があると思われがちな性的被害です。しかし、肉体的に男性より弱い私達女性がどのように自分の身を守れるものなのか。今の所、防犯ブザーを持つ等のことしか考えられません。色々な状況の中で辛い思いを抱いて生きている女性が多勢いらっしゃると思います。被害者の落度をあげつらうのではなくて、強い者が弱い者を大切にする社会に少しでも変って欲しいと思います。やっとな被害者の人権を守る方向へ進む時代になったのですね。頑張ってください。」

「このようなアンケートがある事で思い出してしまう！！新婚中に、夫が仕事に行ってしまったあと、あいかぎで家に入ってきて、キスをされた事。」

「この調査が送られてきた時に、変な調査だなあとそのままだにしてありました。医科歯科大学というので捨ててしまう程ではなかったのですが…。ところが今日（9/9）読売新聞の朝刊で「被害者の人権を考える」の記事の中で同大の研究の事を知りました。日頃から被害者の人権については考えさせられる事が多くあり、いさどおりを感じていました。今回の調査は性的被害ということで42才の私にはチカンにあった頃の事も遠い昔という感じですが、その当時はドキドキ、いやーな感じだったと思います。幸いにしてその位の感じで協力できる事も少ないのですが、その程度の事でも何かご協力できるのであればいつでも協力します。頑張ってください。」

「今までこういうアンケートに答えてきましたが、この様なアンケートは初めてでした。いやな経験をされている方も多し時代、少しでも心が軽くなれる様に、又、為にもこの様なアンケートも必要ではないかとふと思われました。」

「今回この様な調査に参加させて頂き光栄に思っております。というのも、私自身がこの調査がくるまで、忘れてしまっていたという程度の被害者だったからです。人が傷つくという事に無関心に過ごしているなと思えました。性的被害にあわれた方を思うと、加害者の男性のみならず、女性の目も大変厳しいものとなるであろうと思われます。その事でよけい傷つき、孤独になってしまうにちがいないと思います。犯罪の被害者、病気の後遺症等、深く傷ついた方を、少しでも受け入れられる自分でありたいとは思いますが、現実として、ありきたりの言葉しか思い浮かばず、How to もわかりません。これは大学の分野ではありませんが、保健の授業に於いて様々な障害のある方の接し方、ケアのしかた等ソフト面での教育も必要なのではないかと思ひます。毎日性犯罪が起り、被害者が女性であるという悲しい現実です。単に週刊誌をにぎわす話題としてではなく、犯罪であり、深く傷ついた被害者がいるということをお忘れな様にしたと思います。難しい調査研究とは存じますが、皆様方の御活躍をお祈り申し上げます。」

「私は幸い、これまでに、たいした被害に会っていませんので、この様なアンケートに答えるのはちょっと実感が湧かないというか、答えにくいものがありました。ただ、いろいろな記事や、番組を見て、最も憤りを感じるのは、子どもに対する性的虐待で、心底許せないと思います。」

「こんなアンケートを書かせる事により忘れていた事をわざわざ思い出させるのは良いことでは無いと思います。」

「第 4 部の質問がよく理解出来ず協力出来なくて申し訳ございません。回答が遅くなったことも重ねておわびいたします。」

「提出が遅くなりましたことをお詫び申し上げます。私の経験では参考にならないとは存じますが、このような調査が行われるのは非常に重要かと存じます。お役に立てることがありましたらぜひ協力申し上げたいと存じます。」

「このようなアンケートがきて、びっくりしました。私はここにある質問のような事がいままでまったくなかったので、とても幸せだなあとあらためて思いました。」

「なぜ私が対象になったのか知りたいです。平凡に生活していますのでこの様な書類が送られるのはとても心外です。主人とも相談しましたがとても迷惑に感じました。」

「若い頃（10 代後半）父よりいやな思いをさせられましたが、結婚により忘れることができました。このアンケートを見て思い出しかけましたが記憶から消したいです。他人より深刻です。」

「このような研究がなされていることは知っておりましたが、女性にとって非常に救いになることです。私的に言えば、家庭の中においても、男性優位社会そのものと言う感が否めません。私自身も、ストレスにさらされる毎日、苦痛を感じております。御健闘お祈りします。」

「実は、このアンケートにお答えするのに、考えてしまいました。もう 40 年も昔の事になりますし。警察へ届け出た時の悲しかった事が 1 度に蘇ってしまったからです。でも再度お葉書を頂いて、これからの事に（女性はもちろん、若い人の服装で男性の方も大変）いささかでもお役に立つのならと記入しました。」

3-12.電話での問い合わせ

調査に対する問い合わせ先として、調査責任者の研究室の電話番号を明記したところ、17件問い合わせを受けた。問い合わせ内容の主旨は以下の通りである。問い合わせ先となっている電話番号、および調査主体が実在するか確認したいという内容が主なものであった。また、対象者の家族や男性からの問い合わせも多く、突然調査票が送付されたことによる周囲の驚きがかがわれるものもあった。

「本当に連絡先が医科歯科大か確認したかった。医科歯科大と言うことがわかったのでアンケートに答えることにする。」

「娘がアンケートを受け取ったが、本当に医科歯科大がやっているのか」

「連絡先を確かめたかった」

「本当に医科歯科大か、プライバシーが守られるのか」

「あの調査は人権侵害である。被害にあった人は自分で連絡できる。ああいう調査をすること自体、女性を弱者と見ている。」

「娘の所に送付された封筒にショックを受けた。家族が一晩、娘が被害にあったのではと眠れなかった。表にアンケートとでも書いてくれれば安心できたのに。大学の先生たちは、自分たちが正しいと思うことを横柄にやりすぎる。いろいろに受け止める人がいるとは考えていない。封筒の表に、責任者の名前や、無作為に選んだ対象であるなど、きちんと書くべき。」

「家内が性被害にあっている。どこから住所、氏名などの情報を得たのか。この調査は問題になる。」

「こんな調査をやっても助けにはならない。」

「自分は大きな病気を抱えており、「難治疾患研究所」という文字を見ただけでショックだった。前もってアンケートが来ると分かっていたら、多少は違ったのだろうが。」

「被害者の個人情報警察から漏れたのではないかという問い合わせがあった。警察は無関係であることをきちんと文書などで明確にしてほしい。また、「アンケートによって思い出してしまった」という苦情の電話も受けた。」(警視庁被害者対策室より)

「本当にプライバシー守られるのか。調査結果は個人のデータとして発表されるのか。無作為抽出したのか。」

「自分は難病なのだが、その関係で難治疾患研究所の調査の対象になったのかと思った。住民台帳から聞いて、納得した。」

「被害行動学がたしかに実施しているのか確認したかった。」

「本当に医科歯科大からのものなのか確認したかった。」

「本当に医科歯科大の小西という人がいるのか、確認したかった。」

「嫁の所にアンケートが来た。こんな非常識なものを送るとは、もっと世の中に出ているいろいろな勉強をするべきだ。レイプの被害者の気持ちなんてあなた達にはわからない。カウンセリングなんてできるはずがない。」

「調査の内容が内容だけに、本当に医科歯科大からのものかどうか確認したい。書いてあるこの番号も本物かどうか疑わしくて、確認の電話をした。」

*電話によるインタビューの結果は現在集計中であり、別の機会に報告することとする。